

平成29年10月22日執行 衆議院・市議会議員選挙開票事務従事者アンケート集計結果

アンケート対象者160名 提出者153名 提出率95.6%

開票所での係

	該当数	全体に占める割合 (%)
総括指揮係	3	1.9%
開票係	57	35.6%
移動係	6	3.7%
分類係	15	9.4%
点検係	27	16.9%
審査係	14	8.8%
計算係	15	9.4%
集計係	6	3.7%
広報速報係	4	2.5%
記録係	6	3.7%
庶務係	7	4.4%
合計	160	

開票所での役割

	該当数	全体に占める割合 (%)
主任	32	20.0%
副主任	39	24.4%
従事者	89	55.6%
合計	160	

質問1. 開票事務リハーサル（金曜夕方実施）で、十分な説明がありましたか。

	回答数	全体に占める割合 (%)
十分	2	1.3%
概ね十分	18	11.8%
やや不十分	18	11.8%
不十分	9	5.9%
不参加	104	67.9%
非該当・無回答	2	1.3%
合計	153	

質問2. あなたの係の責任者（主任）が誰か分かっていましたか。

	回答数	全体に占める割合 (%)
分かっていた	121	79.1%
概ね分かっていた	19	12.4%
やや分からなかった	4	2.6%
分からなかった	4	2.6%
非該当・無回答	5	3.3%
合計	153	

質問3. あなたの係の責任者から明確な指示がありましたか。

	回答数	全体に占める割合 (%)
あった	32	20.9%
概ねあった	55	35.9%
あまりなかった	37	24.2%
なかった	20	13.1%
非該当・無回答	9	5.9%
合計	153	

質問4. 開票事務マニュアルはよく理解できていましたか。

	回答数	全体に占める割合 (%)
理解していた	26	17.0%
概ね理解していた	103	67.3%
あまり理解できなかった	16	10.5%
理解できなかった	0	0.0%
見ていない	6	3.9%
非該当・無回答	2	1.3%
合計	153	

質問5. あなたが行った業務の人員は足りていましたか。

	回答数	全体に占める割合 (%)
足りていた	67	43.8%
概ね足りていた	69	45.1%
やや不足気味	14	9.2%
不足していた	2	1.3%
非該当・無回答	1	0.6%
合計	153	

質問6. 小選挙区の投票箱は、廊下に並べられていましたが、以下の作業を行いましたか。

(1) かぎを開ける作業

	回答数	全体に占める割合 (%)
行った	56	36.6%
行わなかった	95	62.1%
非該当・無回答	2	1.3%
合計	153	

(2) ホール内の開票台に投票用紙を空ける作業

	回答数	全体に占める割合 (%)
行った	86	56.2%
行わなかった	66	43.1%
非該当・無回答	1	0.7%
合計	153	

(3) この作業を行うに際し、主任等から明確な指示がありましたか。
 ※質問6(1)(2)のいずれかで行ったと回答された方のみ回答

	回答数	全体に占める割合 (%)
あった	8	5.2%
概ねあった	24	15.7%
あまりなかった	34	22.2%
なかった	22	14.4%
非該当・無回答	65	42.5%
合計	153	

(4) 廊下に並べられていた投票箱が、ホール内以外のところに運ばれるのをみませんでしたか。
 ※質問6(1)(2)のいずれかで行ったと回答された方のみ回答

	回答数	全体に占める割合 (%)
見た	0	0.0%
見なかった	92	60.1%
非該当・無回答	61	39.9%
合計	153	

質問7. 10月22日から2月1日までの間に、不適切な集計がされた事実があった
 というようなことを聞いたことがありましたか。

	回答数	全体に占める割合 (%)
あった	3	1.96%
なかった	149	97.39%
非該当・無回答	1	0.6%
合計	153	

質問8. 事務の流れの中で、不適切又は不自然に感じたことはありますか。(自由記述)

【開票事務に関する事前の研修や当日の指示について】

- ・当日に自らの担当業務以外の業務や、マニュアルに書かれていない業務をしなければならなかった。 5人
- ・投票箱のかぎを開ける作業とホール内の開票台に空ける作業について事前に明確な指示がなく、作業途中での指示となった。 4人
- ・開票時の、指示命令系統が統一されておらず、また、指示系統が不明瞭であり混乱が生じた。 4人
- ・投票事務従事者や駐車場誘導員、台風対応の職員等、途中参加の職員に対して業務開始前に行った業務内容と留意点の説明がなかった。 2人
- ・前日のリハーサルや説明会が十分ではなく、マニュアルを見ただけでは分からなかった。 2人
- ・開票従事者の委嘱状を受け取ったのが、説明会の2日ぐらい前であったので、案内の発送と新着情報へのアップが遅いと思った。 1人
- ・開票台の4台目は、開票台に載りきれない投票用紙をいれた衣装ケースを置くことになっていたが、当日、選管本部職員の指示により投票用紙を直接空けていたので、本部が示したマニュアルを事務責任者と調整も無く変更していたので不適切と感じた。 1人
- ・時間的に余裕がないためか、通常のチェック部分から何点かを削減された。 1人
- ・ホワイエで預る物品の表示もなく、表示するにも紙やマジックもなかったため公民館で借りて対応した。どこの投票所の何を受領したかのチェックもできなかった。 1人

【投票箱の管理について】

- ・投票箱の開錠や箱を移動する作業スペースが極端に狭かった。 8人
- 【開票事務について】
- ・開票に時間がかかっている、遅れているという印象を受けた 9人
- ・開票の結果が確定する前に職員が帰宅することが適切かどうか 3人
- ・開票開始段階ですべての投票箱が開票台に開けられる前に、開票作業に移行し、最後の搬入人員が不足していたと感じた。 1人
- ・投票箱の置かれている部屋にいる従事者がいつもより少なく感じ、慌てて投票箱の受け渡しをされている状況であった。 1人
- 【その他】
- ・特に何も感じなかった。（自由記述無し含む） 41人
- ・疑問票の確認を行うのに、経験者の主観に頼るところが多い。経験の浅い者にとっては、なかなか自分が判断するのは難しい。このままでは後継者がいなくなってしまうのではないかと懸念する。 1人

質問9. 開票事務だけでなく広く選挙事務の中で、どのような反省点・改善すべき点があると思いますか。（自由記述）

【開票事務に関する事前の研修や当日の指示について】

- ・開票事務説明会では係別に時間を分け、従事者全員が会場で本番をシミュレーションできる場とする。事前説明を十分に行う。 18人
- 選挙執行後に事務従事者に課題や疑問を聴き取り、ヒューマンエラーを前提としたシステムを構築する。 9人
- ・事務マニュアルには、今までの経験における些細な注意点などを盛り込み、誰もが従事しても確実に進められるよう、選挙毎に従事者から反省点を聞き取り、改訂していく必要がある。 8人
- ・主任が係の従事者を集めミーティングを行い、一つひとつの事務の確実な詰めをしなければならない。 8人
- ・過去の選挙事務で起こったトラブルや事務局に寄せられた疑問等を取り上げ、不測の事態に備えるマニュアルの見直しが必要。 6人
- ・作業について明確な指示があること、むやみに慌てず、確認しながら作業することが重要。 6人
- ・人材育成の観点から若手職員の方には経験者の指導のもと、選挙事務を経験してもらえるような人員体制が取れればと思う。 5人
- ・全体の把握や不測の事態へ対応するため、専門職の設置が必要である。 5人
- ・開票係の割り当ての発表や開票マニュアルを早い時期に示す。 3人
- ・各係には、一人熟練の職員を配置すべき。 1人
- ・事前に手伝える係がわかっていた方がよい。 1人
- ・何か問題が発生した際は、速やかに情報を事務従事者全員に周知する。 1人
- 【職員の配置や意識について】
- ・基本的には、市役所職員全員が事務従事にあたるよう心がけるべきである。選挙事務従事については、お手伝い感覚になりがちであるが、自分の仕事としての意識が持てるよう啓発していくことが必要。 22人
- ・投票事務従事者が開票係に加わる体制は、モチベーションが低くなり、ミスにつながりやすいし、意思徹底も不完全になる。 21人
- ・任せられる事務はアウトソーシングも考え、スタッフ協力体制にゆとりを持たせること。 20人
- ・総務部内の課、他部署からの応援、専任職員の配置等も視野に入れて、選挙事務局の負担を減らすべきである。 12人
- ・開票従事者が係別に順に帰るのではなく、終了するまで全員が会場に居るようし、何かあれば人数をかけて対応する。 8人
- ・期日前投票所の体制を整える。（人員、研修、照会対応など） 6人
- ・台風対応の中、誰が開票事務に来ているのかの把握が必要。係の顔合わせや説明ができるようにすべき。 6人

・選挙事務に従事する大部分の職員が、勤と経験に基づき執行していることから、あらためて、法律に基づき執行することを認識すべき。	4人
・一人ひとりが責任を持って仕事に従事し、失敗も報告できる環境が大事である。	4人
・開票体制に工夫が必要。(係の業務の調整が必要、若手職員を開票係に配置、選挙にかかる動員率を低く抑えるなど)	4人
・事務局が的確な事務を行う必要がある。	1人
・時期を問わず通年業務として投開票事務の詳細な説明、マニュアル等の調製及び職員研修会等での周知を図るべき。	1人
・再調整しないで済むよう、職員の都合を聞くべき。	1人
・事務主任・副主任はそれぞれの担当場所で明確にし、主として指示又は全体を把握する役割で、作業は手助け程度とする配備が望ましい。	1人
・指示により他の係を手伝うことがあるが、中途半端な知識のまま作業しないようにすべき。	1人
・過度な時間外削減の取組みを見直し、必要な説明等を行う。	1人
・交替ででも投開票の間に長めの休憩を入れるルールにする。	1人
【投票箱の管理、開票台への移動、開票方法について】	
・作業チェックが必要。(投票箱の受領、開錠、空虚、収納)	20人
・動線を見直し、混雑を解消する必要がある。(投票箱の受け取り、開錠、開被台への運搬、開票立会人の確認、出入口での交錯)	8人
・わかりやすい配置の貼紙があるとよかった。	1人
【開票事務について】	
・開票事務は時間の短縮より正確性を重視するべき。	4人
・投票所からの残数の管理を使用できない状況にする。	2人
・機械化できる作業は機械化すべき。	1人
・国政選挙と地方選挙の両方があるとき、どちらを優先して開票するか全国的に決めておいたほうがいい。	1人
・作業段階で重要な事項は開票所内に報告すべき。	1人
【開票会場について】	
・投票所から投票箱を搬入時は、一気に人が押し寄せることになるので、それに対応できるスペース、人員、手順が必要。	11人
・選挙の大小に関わらず、開票場所については、分散することなく体育館等一つの部屋の中で行うべきである。	4人
・開票場の出入りや私物の持ち込みについて管理を徹底する。	2人
【投票所の削減や投票時間の短縮について】	
・投票所の数が多すぎるため、事務も煩雑になるとともに、人員不足も生じることから投票所の数を削減するべき	26人
・開票会場から遠方となる投票所の閉鎖時間繰り上げなどを積極的に進めることで時間的な余裕も設けることで気持ちにも余裕が出来る。	10人
・バーコード読み取り機対応ができればスムーズに投票事務ができるし二重投票など回避でき誤りも防げる。	2人

(注) 個人が特定されるようなもの、また再発防止策に直接関係のないものは掲載していない。